SAPPORO

札幌大通地下ギャラリー
500m美術館
Sapporo Odori 500-m Underground Walkway Gallery
vol.46

渡辺行夫 個展
資源カメラ

Watanabe Ikuo Exhibition

会期：2024年4月27日（土）－6月26日（水）

会場／札幌大通地下ギャラリー500m美術館　札幌市中央区大通西二丁目－大通東二丁目（札幌市営地下鉄大通駅と地下鉄東西線バスセンター前駅間の地下コンコース）

時間／七時三〇分－二三時　主催／札幌市　企画運営／CAI現代芸術研究所｜CAI03（有限会社クンスト）、一般社団法人PROJECTA　https://500m.jp

さっぽろ市
02-D05-24-402
R6-2-314

benizakura art annual 2020 展示制作風景

500m美術館では開設時の2011年から、北海道を拠点とし質の高い創造性を発揮しているアーティストを多く紹介してきましたが、北海道美術界を牽引してきた作家にフォーカスしたことはほとんどありませんでした。そこで2021年、開設10年を迎えた500m美術館では、北海道美術の屋台骨を作り、実力、話題性ともに半世紀以上もの間リードし続けている作家の軌跡を個展形式で発表する企画展を行いました。翌年にも同テーマの企画を行い、注目度の高いことから、今回vol.46では北海道美術を牽引した作家シリーズ第三弾として渡辺行夫個展「資源カメラ」を企画します。

今年74歳になる渡辺行夫さんは長年に渡り石彫刻家として北海道はもとより国内外で活動し、箱根彫刻の森、紋別流氷公園、四国高松市など多くのパブリックコレクションが設置されており、北海道における立体作品表現者の代表的な存在です。15年ほど前から石彫に代わって植物素材のオオイタドリを使っての立体表現へと作風に変化をみせています。北海道に多く自生しているオオイタドリは多年生野草で強い繁殖力を持ち、刈り取っても翌年は何事もなかったように4メートルほどに繁茂します。道路を管理する人たちにとっては見通しを悪くする厄介者としても有名です。渡辺行夫さんはオオイタドリの持つ生命力や特性に惹かれ、この潤沢に存在する材料でどのような作品表現が可能かを模索し始め研究と失敗を重ねながら今の造形に至っています。

展示全体のテーマは自然環境にかける負荷を最小限にしつつ新しい表現の可能性を試みること。展覧会タイトルは「資源カメラ」です。少々ユニークなタイトルですが、渡辺さんは「地球と人間の関係ともいえる事態が危険な状況へと間違いなく進行しています。我々は地球の資源を食いつぶして増殖しています。この状況には真剣に目を向けていかなければなりません。『資源カメラ』は消費される資源側のレンズを通して人間社会を映そうと試みます。資源の側に立ってシャッターを押せるのは私たち人間です。」と今回のタイトルの理由を語っています。

さらに今回の展示ではオオイタドリ以外にガラスケース1基にはボーリング場で廃棄されたピンを使った作品を出品予定で、プラスチックの表層をむいた木材の部分だけを使用します。それも廃品の再利用となっています。

札幌と小樽をつなぐ海と山に囲まれた海岸線に位置するアトリエで毎日創造活動をする渡辺行夫さんにとって自然環境と自身の創造性の融合は文字通り至極自然なことであり、オオイタドリとの出会いによって成熟した感性は長年追求してきた立体表現の集大成と言えるかもしれません。

「まる四角」
2009年／素材：イタドリ

「資源カメラ」
2023年／素材：イタドリ

渡辺 行夫 | Watanabe Ikuo
1950年紋別市生まれ。金沢市立美術工芸大学彫刻科卒、研究科修了。
主な展覧会としては、新制作展、全道展、立体表現展、旭川彫刻フェスタ、ハルカヤマ藝術要塞、KAJIMA彫刻コンクール、札幌芸術の森美術館「昨日の名残 明日の気配展」、朝里現代美術展、紅櫻アートアニュアル、北海道スウェーデン交流展など。

主な受賞
第6回ヘンリームーア大賞展箱根彫刻の森美術館賞
第6回本郷新賞
石の彫刻国際シンポジュウム賞
石の彫刻美術館牟礼町長賞
石の彫刻国際シンポジュウム賞招待賞
2012年 北海道文化奨励賞

主なパブリックコレクション
箱根彫刻の森、紋別市流氷公園、中山峠、洞爺湖ぐるっと彫刻公園、旭川療育園、旭川市、恵庭市ユカンボシ公園、神奈川県平塚市、中国上海、スウェーデン、四国高松市、下川町万里の長城公園、紋別山頂公園ほか。

ご来場いただいた方を対象に WEB アンケートを実施しております。今後のより良い企画運営のため、ご協力をお願いいたします。

●回答方法／スマートフォンやパソコンを使って下記URL又は二次元コードからアクセスしご回答ください。
札幌市公式HP　ホーム ＞ 教育・文化・スポーツ ＞ 文化・芸術 ＞ 札幌市所管の文化施設について（指定管理者制度など） ＞ 札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」
https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2024_questionnaire500m.html